

議会活動レポート

中東遠医療圏における地域医療

議員研究会

開催日時

令和4年11月25日（金）

会場

市役所東館3階

内容

「菊川市を含む

中東遠医療圏における

地域医療について」

講師

国立大学法人浜松医科大学

地域医療支援学講座

特任教授 竹内 浩視 氏



中東遠医療圏における地域医療の現状と課題、これまでの取り組みと今後の方向性、公立・公的医療機関等の現状や医療機関の機能分担と連携に係る取り組みの状況、圏域の将来推計人口、医療介護需要予測状況について講義を受けました。

議員からは、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で効果的に活用するという視点を持って公立病院の経営を強化することが重要であると感じた等の声が聞かれました。

今後は、本市議会として地域医療構想や公立病院経営強化プラン等を考慮しつつ、菊川市として取り組むべき短期的・中長期的な課題を見出し、市政にどのように反映させていくことが出来るか検討していきます。

東海第二発電所視察

原子力勉強会

開催日時

令和5年1月17日（火）

会場

東海第二発電所

（茨城県那珂郡

東海村白方一―二）

内容

「東海第二発電所視察」

今回の視察は、浜岡原子力発電所に建設を計画している使用済燃料乾式貯蔵施設の視察を目的

的に実施しました。

平成27年に国や県、事業者に対して市議会から提出した「浜岡原発の再稼働に係わる意見書」を基に再稼働に向けた現状の確認や原子力に関する課題等に対処するため、共通認識や多角的な知識を得ることを目的に毎年勉強会を実施しています。

議員からは、「使用済燃料乾式貯蔵設備は、実際に容器外面に手で触れて温かさを感じることでできた。放射線量、圧力や温度等を常時監視しており、異常時には中央制御室へ警報が上がるなど、安全管理措置が十分に取られていた。また、冷却は全くの自然の空冷式で、非常時の電源喪失状態でも管理できること。東日本大震災の際にも建屋、容器ともに異常はなかったとの回答もあり、設備の安全性が十分に確保されていることが理解できた」などの声がありました。

